

テーマ 1

自治体内の体制整備（平時・被災時）を進める際に、貴自治体ではどのようなことが課題になっていますか。また、体制整備に関する現状の取組内容と、今後の取組予定又は取り組むことが望ましい内容について

< テーマ 1 - 1 : 組織体制・役割分担について >

課 題	現状の取組内容	今後の取組予定又は 取り組むことが望ましい内容
<ul style="list-style-type: none"> ・災害廃棄物処理計画を策定したが庁内に浸透しておらず、発災時には各部署でそれぞれの災害対応にもあたるため研修の機会が必要。 ・そもそもの人員不足で仮置場開設、窓口での問い合わせ対応を回しきれなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・県の図上訓練に担当者が参加し、災害廃棄物処理計画も持参のうえ被災時を想定して訓練を受けている 	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度組織再編のタイミングで<u>災害廃棄物処理計画について再度関係課と確認の機会を設け、その後も定期的実施することが望ましい</u>と考える。
<ul style="list-style-type: none"> ・災害対応経験者の<u>異動等による未経験者への知識やスキルの継承や伝達の方法</u> ・県内市町村災害廃棄物処理計画の策定に向けた市町村支援の具体的取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害廃棄物処理のための図上演習（年3回、水害/地震） ・市町村災害廃棄物処理計画の未策定市町村等を対象とした策定検討会 ・<u>災害協定団体を一同に介した意見交換会や情報通信訓練</u> ・災害協定締結事業者の処理施設の視察と意見交換 	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物処理計画の実効性向上に向けた取組（各圏域での処理プランの作成）
<p><u>災害廃棄物は当環境政策課循環型社会推進グループが所管しているが、万一の大災害時に、庁内の応援態勢が速やかに取れるか不明確。（東日本大震災時も特に災害廃棄物処理のためのプロジェクトチーム等は作られなかった）災害廃棄物処理と施設復旧で、担当課が異なる</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>災害廃棄物処理に係る研修を年2回実施し、関係課（環境保全課、防災危機管理課、県民生活文化課（災害ボランティア担当））に参加を呼びかけている。</u> 	<p><u>関係課による平時からの情報共有（特に防災担当課）</u></p>

< テーマ 1 - 1 : 組織体制・役割分担について >

課 題	現状の取組内容	今後の取組予定又は 取り組むことが望ましい内容
<p>災害廃棄物処理チームの担当者リストの作成を行っているが、<u>発災時は人員に限りがあるため兼務する構成</u>となっている</p>	<p>災害対策本部訓練で災害廃棄物処理対応の確認を行った</p>	<p>役割に応じた訓練への参加</p>
<p>・各業務に対する担当部署は決まっているが、何人を配置する必要があるか等、具体的なことが定められていない。 ・損壊家屋等の撤去（必要に応じて解体）を災害廃棄物処理計画に盛り込むが、<u>実際に撤去を実施する方法が決まっていない。</u></p>	<p>・年に一度、市の総合防災訓練により、部署としての役割と実際の動きを確認している。</p>	<p>・災害廃棄物処理計画をもとに人員配置の計画を作成することが望ましい。 ・<u>建設部門と災害発生時の協力体制の取り方について確認を行う必要がある。</u></p>
<p><u>廃棄物処理担当職員が、災害時には避難所開設・運営業務を兼ねて担当するため、迅速な職員体制整備や仮置き場の選定に支障をきたすことが想定される。</u></p>	<p><u>発災に備え事前に仮置き場の候補地を選定しているが、災害応急対応の人員体制が不明であるため、災害廃棄物処理体制整備までできていない。</u></p>	<p><u>災害廃棄物処理体制を構築するための人員リストの整備をしなければならないと考えている。</u></p>

< テーマ 1 - 1 : 組織体制・役割分担について >

課 題	現状の取組内容	今後の取組予定又は 取り組むことが望ましい内容
<p>東日本大震災の教訓から、マニュアルは定めているが、<u>人事異動により現在の当課には経験者が乏しい状況にあり、被災した場合の対応に不安がある。</u></p>	<p><u>災害廃棄物に係る研修を開催した際には、担当外職員も積極的に受講することとしている。</u></p>	<p><u>一定規模以上の災害が発生した場合、災害廃棄物処理のためのプロジェクトチーム（専従チーム）を設置する。</u></p>
<p>災害廃棄物処理を担当する生活環境班の連絡体制図はリスト化をしているが、担当者を決めておらず、役割を十分に理解しきれていない</p>	<p>廃棄物処理対策の担当者を定め、役割の明確化、配置計画、連絡体制について話し合う</p>	
<p>被災時における、市町村職員の対応力向上。特に初動対応について。</p>	<p>仮置場設置訓練の実施。</p>	<p>仮置場設置訓練の継続。発災時の市町村支援。</p>
<p>災害廃棄物処理計画による各部局の具体的な行動・連携体制に課題がある</p>		<p>他自治体の取組の研究により、体制を構築したい</p>

< テーマ 1 - 2 : 計画・マニュアルについて >

課 題	現状の取組内容	今後の取組予定又は 取り組むことが望ましい内容
<p>地域防災計画など、事前の計画がうまく機能していないと評価される点があった。</p>	<p>地域防災計画を見直すため、市役所全体で「令和5年7月豪雨災害対応検証委員会」を設置し、組織体制、避難所、被害調査などの分科会を設置し、検証項目について検証を行っている。</p>	<p>災害廃棄物処理について部会を設置し検証を進めており、その内容に基づき処理計画・収集運搬方針・仮置場の運営等について見直し・策定等を進めることとしている。</p>
<p>発災時の各部署の初動を取りまとめた『いわき市地域防災計画』を作成。</p>	<p>災害廃棄物処理のための図上訓練を実施</p>	<p>災害廃棄物処理のための役割分担の整理をし、各部署での業務負担に偏りを無くす。</p>
<p>・現段階で明確な課題を把握できておりません</p>	<p>・災害廃棄物処理計画において、災害廃棄物処理に係る組織体制を定めている。（参考：本編P8）</p> <p>・計画は策定済みです。</p>	<p>・発災時のシミュレーションによって課題を把握したい。</p>
<p>災害廃棄物処理計画は策定済みだが、<u>詳細の行動計画ではなく、実効性に疑問がある</u></p>	<p><u>年度内に各担当の業務手順を示したマニュアルを作成するため、現在、関係部署と協議中</u></p>	<p><u>作成したマニュアルに基づき、防災担当部署等とも連携しながら、図上訓練を実施し、マニュアルの実効性を高めていくことが必要と考えている</u></p>
<p>計画は策定しているが、被災時に迅速に対応するための手順書（初動マニュアル等）を作成していない（手が回らない）。</p>	<p>災害廃棄物処理等の協力に関する協定を家庭ごみ収集業務委託業者と締結する準備を進めている。</p>	<p>初動マニュアルの作成、計画の見直し。</p>

< テーマ 1 - 3 : 関係機関との連携について >

課 題	現状の取組内容	今後の取組予定又は 取り組むことが望ましい内容
<p>被災市町からの疑義照会や庁内外の関係機関との連絡調整等が発災後数日間に集中し、<u>必要な情報整理が追いつかず、速やかに対応することができない場面があった。</u></p>	<p>庁内の関係課や災害廃棄物処理に係る協定を締結している秋田県産業資源循環協会とは速やかに連絡を取り合える体制となっている</p>	<p><u>初動対応力向上のため、関係機関との連絡調整などを時系列に沿って学ぶタイムライン研修を実施することが望ましい</u></p>
<p>令和元年東日本台風による水害に続き、令和3年及び令和4年福島県沖地震災害が発生し、災害廃棄物処理を間断なく実施した。本年度8月には災害廃棄物処理が終了し、現在、災害で遅れた事業やごみ排出量削減のプロジェクトに取り組んでいるところ、振り返りや今後の体制整備への取組みはできていない状態。</p>	<p>今後、近いうちに再度発災した場合は過去4年の経験に沿って同様に対処。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・この4年に災害業務に携わった職員に聞き取りを行い、今後の改善点とする。 ・年度初めに課内各係の災害時の役割について確認する。また、災害レベルに応じ部内での応援体制も確認しておく。

テーマ2

発災後には、迅速に被害状況を把握する必要がありますが、その際どのようなことが課題になると思いますか。また、現状の取組内容と、今後の取組予定又は取り組むことが望ましい内容

< テーマ 2 - 1 : 情報収集について >

課 題	現状の取組内容	今後の取組予定又は 取り組むことが望ましい内容
<p><u>市町村担当者が1名で対応している場合、担当者と連絡が取れず被害状況を把握しづらい</u></p>		<p>市町村担当者を複数名配置し、担当間で情報を共有してもらい、県等との連絡担当をあらかじめ決めておくことが望ましい</p>
<p>被災エリアの詳細場所を把握する事は困難。災害廃棄物がどのエリアでどの程度発生するか予測する事は難しい。</p>	<p>各支所、災害対策本部との情報共有。</p>	<p>発災時の現場確認について、協力体制の構築</p>
<p>水害における浸水区域と浸水件数の把握。（浸水した家財などの災害ごみ発生量の推計）</p>	<p><u>本市災害本部からの情報、ハザードマップ、ドローン映像による浸水区域の把握</u></p>	<p>浸水区域の把握に可能な限り即情報を得られるよう<u>国、県機関のウェブサイト等の活用、庁内河川管理部署との調整</u></p>
<p>・被災範囲が広範囲にわたった場合、被害状況の把握に日数を要する。</p>	<p>・被災範囲が広範囲にわたった場合、被害状況の把握に日数を要する。</p>	
<p>市町村によっては、担当者が複数業務を抱えているため、初期段階の情報収集に課題があると思われる。</p>	<p>必要に応じ、県の出先機関の職員が現地調査を実施している。</p>	<p><u>必要に応じ、県の出先機関職員の現地調査を引き続き行う。市町村と県機関とがスムーズに情報共有できる方策があるとよい。</u></p>
<p>・災害対応において、災害対策本部との間でどのように情報共有を行うか、定められていない。 ・発災時に近隣自治体（特に一部事務組合及びその構成市町）と情報共有を行う準備がなされていない。</p>	<p>・廃棄物処理計画において発災後の各段階において収集すべき情報を整理している。 ・民間の廃棄物処理業者と協定を締結し、相互に情報共有を行うこととしている。</p>	<p>・災害廃棄物処理に特化した図上訓練等を実施することが必要である。 ・近隣自治体と共同で訓練を実施することも検討する。</p>

< テーマ 2 - 1 : 情報収集について >

課 題	現状の取組内容	今後の取組予定又は 取り組むことが望ましい内容
<p>災害廃棄物処理計画を策定しているが、幸いに本市で甚大な災害が発生していないこともあり、速やかに被害状況を把握できるか課題がある</p>		<p>他自治体の取組を研究により、体制を構築したい</p>
<p><u>・特に津波による災害の場合、当市の沿岸部に立地する事業所から原料などが流れ出し、混じりあって被害状況が把握しづらくなる。</u></p>	<p>・現状では、特に取組はされていない。</p>	<p><u>・平時から各事業所と連携し、発生す恐れのある廃棄物について把握し、流出の防止や対応を協議しておくことが望ましい。</u></p>
<p><u>・内水氾濫が発生した場合は、河川が越水した箇所以外にも広範囲で被害が発生するため状況把握が難しい</u> ・避難所用務や被害調査用務など庁舎内で人員需要が圧倒的に高まる</p>	<p>・水害ハザードマップに加え、新たに策定した内水氾濫マップなどを活用し、部内で被害状況の把握につとめるようにしている。災害対策本部会議の情報を共有している。 ・災害廃棄物収集等に対して人員が必要であり、避難所運営の応援に人員を派遣できる状況ではない旨、情報共有している。</p>	<p>・災害対策本部との連絡調整により、<u>全庁的に情報がより円滑に共有できるよう調整を進めている。</u> <u>・災害廃棄物の収集等について、災害対応全体の中でも優先度の高い業務であるとして、全庁の職員が対応できるよう調整を進めている。</u></p>
<p>自治体職員だけで被害を把握することは困難と考える。</p>	<p>災害対策本部では、防災訓練を通じ消防団、自主防災組織等の関係団体と連携した被害情報の集約に努めている。</p>	<p>災害対策本部と被害情報を共有することで、災害廃棄物処理対応の初動につなげる。</p>

< テーマ 2 - 2 : 関係団体との連携について >

課 題	現状の取組内容	今後の取組予定又は 取り組むことが望ましい内容
<ul style="list-style-type: none"> ・被災状況を早くに知る手段がない。 ・災害時の部局間での情報共有や連携に不安がある。 		<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練等の中で災害廃棄物対応についてもシミュレーションできれば良いと考えます。
<ul style="list-style-type: none"> ・課内及び出先機関の人員不足 ・<u>災害対応経験者の異動等による未経験者への知識やスキル不足</u> ・<u>市町村や災害協定団体などの関係団体との連絡体制の構築の遅延による情報共有不足</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害廃棄物処理のための図上演習（再掲） ・県職員向け災害対応の手引きの作成による初動対応手順の確認と役割の明確化 	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>継続的な図上演習や関係団体との意見交換会の実施</u>
<p>庁舎内の役割分担に対して人員が絶対的に不足している</p>	<p><u>道路被害状況については、委託業者が収集・運搬業務において確認できた範囲の情報収集</u></p>	<p>関係各課等との情報共有のありかたを検討</p>
<p>災害担当課との連携。</p>	<p>未実施。</p>	<p>災害担当課と発災時の被害状況の情報共有等について平時から協議が必要。</p>

< テーマ 2 - 3 : 組織体制について >

課 題	現状の取組内容	今後の取組予定又は 取り組むことが望ましい内容
<ul style="list-style-type: none"> ・庁舎内の人員不足 ・市域が広い山間部の道路状況等の情報が入るまで時間がかかる ・災害時には情報が錯綜するので時系列に情報をまとめ、見える化し混乱を防ぐことが必要 		<ul style="list-style-type: none"> ・防災・道路管理部局等と平時から問題共有し発災時に情報共有できる仕組みを構築しておくことが必要と考える。
<p>庁舎内の役割分担に対して人員が絶対的に不足している。</p> <p><u>土砂やがれき等で道路がふさがれ、被災現場の全体像を把握するまで時間がかかる。</u></p>		<p><u>建設・土木部局と発災時の道路啓開等について平時から問題意識を共有するための協議などを行う。</u></p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・県災害対策本部からの情報収集のほか、被害が特に大きな市町村については、直接電話等で被害状況や、災害廃棄物への対応状況を確認している。 	<p>防災部局と平時から問題意識の共有。</p>

テーマ3

一定規模以上の災害発災後には仮置場を開設して広報周知する必要がありますが、その際どのようなことが課題になると思いますか。また、現状の取組内容と、今後の取組予定又は取り組むことが望ましい内容

< テーマ3 - 1 : 仮置場について >

課 題	現状の取組内容	今後の取組予定又は 取り組むことが望ましい内容
<ul style="list-style-type: none"> ・ 仮置場を開設し、運営するために必要な人員の検討がされていない。 ・ 想定される最大規模の水害が発生した場合、公有地だけでは仮置場が不足することが想定される。 	<p><u>仮置場候補地をリスト化し、それぞれの候補地を仮置場として使用する際の協議先及び使用する際の留意点を整理している</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 仮置場の運営及び管理は市職員による直営だけでは困難であることから、<u>民間業者に委託することを見込んで協定等を締結することが望ましい。</u> ・ <u>民有地借上げのために要綱を整備しておくことが望ましい。</u>
<p>仮置場を事前に選定していても、移動手段も待たない人や<u>高齢者が最寄りの広い土地（公園等）に勝手仮置場を設置してしまう</u></p>	<p>事前の協定や災害廃棄物処理基本計画により、迅速に対応できるよう準備をしている</p>	<p>方針変更の際の情報共有の徹底</p>
<p><u>仮置場の候補地は決まっているが、人手不足によって開設することが難しい（管理ができない）</u></p>	<p>岩手県産業資源循環協会の総会、研修会に参加</p>	<p><u>岩手県産業資源循環協会等の関係団体と仮置き場の開設、管理、運営について話し合いを行いたい</u></p>
<p>仮置場の候補地は決まっているが、開設するための人手が不足している。</p>	<p>仮置場のレイアウトを担当職員（本庁及び支所職員）で協議。</p>	<p>災害廃棄物処理等の協力に関する協定を家庭ごみ収集業務委託業者と締結する準備を進めている中で、仮置場の開設等について協議が必要。</p>

< テーマ3 - 1 : 仮置場について >

課 題	現状の取組内容	今後の取組予定又は 取り組むことが望ましい内容
<p>仮置場の候補地は決まっているが、自宅前や地区のごみ集積所、公園や空き地等に災害廃棄物を排出する、<u>いわゆる勝手仮置場ができ、また、混廃されるおそれがある</u></p>		<p><u>速やかに仮置場の開設を市民に情報提供できる体制についてシミュレーションをしたい</u></p>
<p>仮置場候補地が決まっていない。</p>	<p>・公園など公有地の利用について関係部署と交渉中。</p>	<p>・民有地も含め、複数の候補地を確保し、リストの作成に努めたい。</p>
<p>条件が整っている候補地が少なく、被災地区から遠い場所となってしまった。(市町村からの回答より)</p>		<p>新たな仮置場の候補地を検討する必要がある。(市町村からの回答より)</p>
<p>勝手仮置き場が発生してしまい、混乱が生じないよう周知する必要があること。</p>		<p>産業資源循環協会や建設業協会などの関係団体との間で、仮置場の開設、管理、運営について協議しておく。搬出困難な住民のために積極的にボランティアを活用する。</p>
<p>・仮置場候補地が不足している。</p>	<p>・仮置場候補地を庁内での合意のもとリストアップした。</p>	<p>・仮置場候補地は市全域をカバーしていないのでさらに追加したい。</p>
<p><u>・災害廃棄物処理計画が未策定の場合でも仮置場候補地の選定するよう助言しているが、検討中の市町村がある。</u></p>	<p>・毎年実施している市町村、協定締結団体向けの研修で<u>仮置場の開設、広報についてワークショップ形式で研修を行っている。</u></p>	<p><u>・最近の災害から見えてきた課題(個別収集が必要、勝手仮置場への対応等)を踏まえながら、同様の研修を実施したい。</u></p>

< テーマ3 - 2 : 組織体制について >

課 題	現状の取組内容	今後の取組予定又は 取り組むことが望ましい内容
<p>・県災害廃棄物処理計画に仮置き場の候補地を整理しているが、人員不足や具体的な手順が未確定なため、実運用可能か懸念がある。</p>	<p>・災害廃棄物処理のための図上演習の1テーマとして、仮置き場のレイアウトや広報チラシの作成など関連する内容を盛り込むようにしている。 ・市町村等へ仮置き場に関する課題の確認や実地訓練のニーズ把握</p>	<p>・仮置き場の実地訓練（再掲）</p>
<p>仮置場の開設運営には、想定よりも人員を要することがわかったことから、対応ができるよう対策を検討する必要がある。</p>	<p><u>今回の被災により仮置場の管理運営を産業資源循環協会へ委託することができた。こうした取組を今後も継続し充実化を図れるようつとめることとしている。</u></p>	<p><u>仮置場の運営管理について、より踏み込んだ内容を意見交換することにより、発災時に迅速に対応できるような対応が必要だと考えている。</u></p>
<p>仮置場の候補地は決まっているが、人員不足で十分な管理が困難と思われる。</p>		
<p>・第一義的に市町村が仮置場を設置することになるが、県有地を提供したりするケースもあると思う。そのような候補地がリスト化されていない。（大災害時に、県への事務委託等で2次仮置場を開設するケースもあると思うが、その場合についても同様） ・（一般論として）勝手仮置場は必ず発生することだが、住民が災害ごみを排出する段階で、いかに負担感なく分別してもらえるか。</p>		

< テーマ 3 - 3 : 情報発信について >

課題	現状の取組内容	今後の取組予定又は取り組むことが望ましい内容
<p>情報弱者への周知徹底に課題があると思われる。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・仮置場候補地は決まっているが、災害が大規模になり足りない場合にまとまった用地がない。 ・仮置場候補地の立地自治会との調整に時間がかかり大変だった。 ・発災時には広報等紙ベースでの周知が難しく、ホームページやメール等で周知したが問い合わせが多く、人員も少ない中で対応が大変だった。 ・仮置場開設が完了する前に住民が並んでしまった。 ・分別が不十分だったり対象品目以外を持ち込む場合が多かった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・仮置場候補地の選定は複数箇所行っているが <u>人口が多いエリアに近い場所に広い用地は確保できていない。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>平時に県有地・私有地を含めた用地の把握、仮置場としての借用が出来るか検討</u> ・ <u>平時より立地自治会と発災時の対応（連絡系統等）話し合っておく。</u> ・ 個人に直接届く <u>メーリングリストへの登録を呼びかける。</u> SNS等の活用。 ・ 災害発生時の分別のルール等を発災後すぐにメールやSNSでもお知らせできるよう資料を作成しておく。

< テーマ3 - 4 : 分別方法について >

課 題	現状の取組内容	今後の取組予定又は 取り組むことが望ましい内容
<p>隣組回覧、ホームページや広報誌への掲載、防災行政無線、SNSなど多様な手段を用いた周知方法の構築が必要となる</p>	<p>機会を捉え、災害廃棄物処理訓練に参加することで、効果的な周知方法についても習得に努めている</p>	<p><u>高齢者世帯における収集運搬についての検討</u></p>
<p><u>・家庭系・事業系で受け入れできない廃棄物の把握と市民への正しい説明</u> ・災害ごみの受け入れについて市民からの直接問合せへの対応による業務の停滞。 （広報を行うが、広報内容を確認するためにTELしてくる。広報を見ない。）</p>	<p>・平時において受け入れ処理している廃棄物を基本としている。 ・広報（本市ウェブサイト・各SNS、町内会FAX、防災無線、新聞、TV、ラジオ、広報誌）による周知</p>	<p>分かりやすい内部資料を作製し平時から備えておく。 部内各課からの応援。他自治体からの支援職員の要請など。</p>
<p>家庭排出される災害廃棄物は、原則、道路から見える自宅敷地内に排出し、市が回収し仮置場に運ぶことになっているが仮置場への自己搬入も想定され交通渋滞等による仮置場への搬入の妨げになる</p>	<p><u>仮置場運営等については県産業資源循環協会と協定の締結を行った</u> <u>平時より市の広報誌やHPに「災害ごみの出し方」を掲載している</u></p>	<p>市の広報誌やSNS等に「災害ごみの出し方」を掲載しており、引き続き継続して掲載を行う</p>

テーマ4

大規模災害発災時には、被災地域へ支援が向かいますが、“支援する側”と“支援を受ける側”（受援側）とで、やるべきこと・やってもらいたいことの整合性を取るには、どのようなことが課題になると思いますか。また、現状の取組内容と、今後の取組予定又は取り組むことが望ましい内容

< テーマ4 - 1 : 受援側について >

課題	現状の取組内容	今後の取組予定又は取り組むことが望ましい内容
<p>・ 支援に来てもらいたいが、<u>支援を受けるための準備をする人員がない</u></p> <p>・ 対応する内容と必要な人員の見通しが立ち支援を要請するまでに時間がかかる。</p>	<p>特に行っていない</p>	<p>相互協定の内容を確認し、相互の役割の確認を行いたい</p>
<p>市町村担当者と連絡が取れないため、被害状況を整理し、どのような支援がどれだけ必要かを的確に把握するのが難しく、支援要請を躊躇してしまう</p>		<p>市町村担当者を複数名配置し、平時から災害時の連絡体制を確認し合うほか、<u>支援メニューの情報に関して共通のフォーマットを作成しミツシヨンのすり合わせを行うことが望ましい</u></p>
<p>東日本大震災においては、他自治体から支援職員が来てくださり短期間ではあったが災害廃棄物処理の内部業務に携わってくださった。しかし<u>廃棄物処理部門に所属する職員ではないことから、データ整理など軽微な仕事に留まった。</u></p> <p>また、東日本台風は国・県職員が支援員として本市に入りその強力な指導下で動いたことで対処できた。人材バンク登録支援員や同じ市町村レベル職員の支援を受けることとなった場合の受援体制の考え方など検討する必要がある。また、逆に支援する側となった場合、その人選において災害廃棄物処理経験者中心に派遣者を選定することが難しい場合がある。</p>	<p>"受援体制の検討は行えていない。今のところ支援は経験を問わず人選。(知識より体力と機材を提供)"</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ やってほしいことがあればその情報を県に取りまとめてもらい、県は県内自治体、または国に要請し要求を満たせる他地域ブロックの自治体に支援を募る。 ・ 支援員として被災自治体を指導できるほどの人材の育成 ・ 受援体制の方法検討"

< テーマ4 - 1 : 受援側について >

課 題	現状の取組内容	今後の取組予定又は 取り組むことが望ましい内容
<p><u>被災自治体は、支援が必要だと訴えることに徹し、支援内容は到着後詰めるべきでないか。</u></p>	<p><u>そもそも被災自治体は、圧倒的に人員機材が足りていないため、何が必要なかを把握できないため、プッシュ型の支援が必要だと考えている。</u></p>	<p><u>どの程度の災害が発生した場合に、どの範囲の支援が必要なのか、災害の規模によって状況が異なることから、支援要請の発動要件を固める。</u></p>
<p>支援や救援に来てもらいたいが、支援内容が不透明で連絡しづらい</p>	<p>相互応援協定を締結している市長村と内容確認等ができていない。(取組めていない)</p>	<p>相互応援協定を締結している市町村との間で、支援側、受援側の(役割)ミッションのすりあわせを行いたい</p>
<p><u>・実際の災害時では、現場の混乱により、必要な支援が何かの整理ができない。</u></p>	<p>・現状で特に取組はできていないが、<u>現在、行動マニュアルを作成中で、受援体制の整備についても整理する予定。</u></p>	<p>・協定を締結している自治体等と円滑に連絡が取れるよう、少なくとも年1回、連絡先の確認だけでも必要と感じる。</p>

< テーマ4 - 1 : 受援側について >

課 題	現状の取組内容	今後の取組予定又は 取り組むことが望ましい内容
<p><u>・他自治体からの支援人員に何を依頼すればよ いかわからない。</u></p>	<p>・岩手県内全ての自治体と相互応援協定を締結 しており、その中で中心となって応援調整を行 う市町村も定めていることから、円滑な初動が 期待できる。</p>	<p><u>・災害対応業務を、本市が自ら対応すべき業務 と、支援人員に任せることを検討する業務とに 分けて整理したい。</u></p>
<p>発災直後では被害の全体像が見えず、支援する 側、受ける側共に、どのような支援が必要なの か把握できない。</p>	<p>近隣自治体の廃棄物対応部署との連携</p>	<p>自治体間の相互応援協定の拡張</p>
<p>支援や救援に来てもらいたいが、支援内容につ いて整理されていない。</p>	<p>未実施。</p>	<p>支援や救援に来てもらった際の支援内容の整理 が必要。</p>

< テーマ4 - 2 : 支援側について >

課 題	現状の取組内容	今後の取組予定又は 取り組むことが望ましい内容
現場での支援（救済）の内容がわからない	防災担当課が主体となって <u>受援対象業務の抽出</u> を行っている	受援対象業務の要請・受入手順整理を行う予定
必要な支援内容について、情報共有が必要である。		
災害時応援協定を締結する県や団体からの要請に基づき応援派遣している。	県や関係機関・団体からの応援要請内容を集約し、派遣可能な職員を取りまとめている。	<u>相互応援協定締結市町村間の顔の見える関係の構築しつつ、できれば災害時相互応援協定の締結など、新たな支援・受援関係の構築を図りたい。</u>
	・被害状況の確認として、広域処理や協定活用見込等の聞き取りを行っている。	・毎年実施している市町村、協定締結団体向けの研修の内容として、応援、受援についての追加を検討したい。
<ul style="list-style-type: none"> ・被災地域の具体的なニーズを把握することが困難 ・受援側が混乱しており、具体的に支援内容の要望が速やかに出しづらい 	<u>・県内市町村限定であるが、平時からの顔の見える関係性を構築するため、図上演習や担当者会議を開催している。</u> （県外自治体と継続的取組なし）	<ul style="list-style-type: none"> ・継続的な図上演習の実施 ・支援側、受援側の平時からの関係性構築に向けた取組の実施

< テーマ4 - 2 : 支援側について >

課 題	現状の取組内容	今後の取組予定又は 取り組むことが望ましい内容
<p>災害廃棄物の収集等の応援を求められた際、即応できる直営部隊の確保に課題がある</p>		<p>災害時の支援側と受援側の行動（支援内容、連携調整方法）のシミュレーションをしたい</p>
<p>・記入例の記載はおおむね課題として共通する。</p>	<p>・災害廃棄物処理に係る研修などにおける情報共有。 ・環境省の人材バンク等の積極的な紹介。</p>	<p><u>・災害廃棄物処理に係る研修などにおける情報共有の強化（特に小規模市町村へのサポート必要）</u> <u>・令和6年度には、広域処理にあたっての、災害廃棄物の受入先（公立・民間）データのリスト化・共有化を行う予定。</u></p>
<p>・現段階で想定できておりません。</p>	<p>・特にありません。</p>	<p>・現段階で明確なものはありません。</p>
<p>支援に入りたいが、被災地域で何が必要なのかの情報が手に入らない</p>		<p>相互応援協定を締結している市町村との間で、支援側、受援側の（役割）ミッションのすり合わせを行う。</p>

テーマ5

発災時の備えとして、自治体では災害廃棄物処理計画、環境省では東北ブロック行動計画や各種手引き / マニュアル等を平時より策定しています。これらの計画や手引き / マニュアル等の発災時の実効性を高めるためには、どのようなことが課題になると思いますか。また、実効性を高めるために行っている現状の取組内容と、今後の取組予定又は取り組むことが望ましい内容

< テーマ5 - 1 : 計画・マニュアル策定について >

課題	現状の取組内容	今後の取組予定又は取り組むことが望ましい内容
<p>災害廃棄物処理計画は策定済みであるが、より具体的な対応方法について想定をし、マニュアル等を増補する必要がある</p>	<p>・災害廃棄物処理計画を最新の災害想定に基づいて更新している</p>	<p>・実際の災害時に策定する実行計画のひな型を整備したい。 ・発災時に行うべき具体的対応を記した初動マニュアルを作成することが望ましい。</p>
<p>災害廃棄物処理計画を策定済みであるが、<u>被災経験の有無によって自治体毎に理解度や対応する能力が違うのでないか</u></p>	<p>今年度の水害を受け、災害廃棄物処理計画を見直す方向で調整を進めている。<u>職員の経験にかかわらず理解が進むような記載を目指す</u></p>	<p><u>現状の研修事業は、被災経験自治体、そうでない自治体も一律に行っている。自治体の状況毎に業務習熟度が異なることから、適切な設定をすべきと考えている</u></p>
<p>災害廃棄物処理計画は策定しているものの、策定以降見直しがなされていない。</p>	<p>人事異動の都度、災害廃棄物処理計画をはじめ、必要なマニュアル等の引継ぎを前任者と後任者との間で徹底している</p>	<p>令和5年度の水害を受け、より実効性を高めた計画の改定を検討している</p>
<p>災害廃棄物処理計画が<u>未策定の市町村がある</u></p>	<p>毎年実施している研修会や説明会で<u>災害廃棄物処理計画策定の必要性について説明している</u></p>	<p>毎年実施している市町村、協定締結団体向けの<u>研修の内容として、災害廃棄物処理計画の実効性の確認についての追加を検討したい</u></p>

< テーマ5 - 1 : 計画・マニュアル策定について >

課 題	現状の取組内容	今後の取組予定又は 取り組むことが望ましい内容
<p>・計画は策定済みで、発災時には想定どおりの対応が難しかったと聞いていますが、その後担当が変わったため、前回の教訓を生かせるかは不安があります。</p>	<p>・特にありません</p>	<p>・防災訓練等の中で災害廃棄物対応についてもシミュレーションできれば良いと考えます</p>
	<p><u>・現在、行動マニュアルを作成中で、当時の記録や当時の担当者の話も聞きながら、整理を進めていきたいと考えている。</u></p>	<p><u>・作成した行動マニュアルに基づき、防災担当部署と、可能であれば住民の協力も得ながら、災害廃棄物の訓練を実施したい。</u></p>
<p>災害廃棄物処理計画を策定済みであるが、近年災害が発生していないこともあり、関係各課や協定締結先との役割分担を明確化する必要がある</p>	<p>研修会等への参加により情報収集を行っている</p>	<p>災害廃棄物処理計画やマニュアルの更新を検討</p>
<p>・平成29年に策定した県災害廃棄物処理計画が更新できていない。</p>	<p>・災害廃棄物処理のための図上演習（再掲震） ・県職員向け災害対応の手引きの作成による初動対応手順の確認と役割の明確化（再掲）</p>	<p>・災害廃棄物処理計画や災害対応の手引きの更新を検討</p>
<p>計画はあるが、人事異動のため、後任者が発災時の対応に手間取ると思われる。</p>	<p>計画の見直し検討。初動マニュアルの作成検討。</p>	<p>計画は策定しているが、情報が古いため見直しを考えている。</p>

< テーマ 5 - 2 : 計画等の実効性について >

課 題	現状の取組内容	今後の取組予定又は 取り組むことが望ましい内容
<ul style="list-style-type: none"> ・ 県災害廃棄物処理計画を策定済み（平成 3 0 年 3 月）であるが、策定後 5 年以上が経過し、情報が古くなってきている。 ・ 県としてのマニュアル等は未策定。 ・ 市町村廃棄物処理計画の策定率が低い（R6.1.1現在で21 / 40市町村 52.5%） 	<p>災害廃棄物処理の実効性を高めるため、市町村等を対象とした研修会（講演やワークショップ）を毎年開催している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県災害廃棄物処理計画の更新やマニュアル作成の検討。 ・ <u>引き続き、市町村災害廃棄物処理計画策定のための支援継続（特に小規模市町村へのサポート必要）</u> ・ 6年度に初めて仮置場の設置訓練を実施し、また、市町村・社会福祉協議会・住民・廃棄物処理業者が参加する地域ワークショップをモデル的に実施（年2回）する予定。このような場を通じて、計画の実効性などについて認識を共有する。
<p>数年おきに人事異動があるが、その都度引継ぎが徹底されていないため、後任者が発災時の対応に手間取ることが多い</p>		<p>策定した計画などを生かしたワークショップ等を実施する</p>
<p>災害廃棄物処理計画を策定済みである</p>	<p>人事異動の都度、災害廃棄物処理計画をはじめ、必要なマニュアル等の引継ぎを前任者と後任者との間で徹底している</p>	<p>地域ごとに実情に差異があり、<u>一律の計画で処理しきれない部分がある。</u></p>
<p>災害廃棄物処理計画を策定しているが、幸いに本市で甚大な災害が発生していないこともあり、発災時の迅速な対応について課題がある</p>		<p>他自治体の取組を研究し、計画等に反映させたい</p>

< テーマ5 - 3 : 情報の引継ぎについて >

課 題	現状の取組内容	今後の取組予定又は 取り組むことが望ましい内容
<ul style="list-style-type: none"> ・災害廃棄物処理計画を策定しているが、庁内 であまり認識されていない。 ・<u>人事異動による引継ぎで説明しても実際の現場をイメージしにくい。</u> 	<p>人事異動の際には引継ぎを行っている。</p>	<p><u>人事異動の際などは計画と合わせ、実際に災害対応に当たった経験者に当時の状況を共有してもらい具体的にイメージを持って計画について把握してもらう</u></p>
<p>災害廃棄物処理計画を策定済みであるが、最近の策定であり、内容まで庁内でも認識されているかどうか不明</p>		<p>処理計画や最新版のマニュアルを策定したが、実効性があるかはわからない。策定した計画などを生かしたワークショップ等を実施したい</p>
<p>後任者への適切な引継ぎが必要であると思われる。</p>		

< テーマ 5 - 3 : 情報の引継ぎについて >

課 題	現状の取組内容	今後の取組予定又は 取り組むことが望ましい内容
<p>数年おきに人事異動があり、その都度引継ぎが徹底されていないため、後任者が発災時の対応に手間取ることが多い。</p>	<p><u>人事異動があったとしても、誰もが災害対応できるよう積極的に訓練に参加することで、体制強化に努めている。</u></p>	<p><u>継続して繰り返し訓練に参加することで、技術・知識の習得を図りたい。</u></p>
<p>令和3年度に災害廃棄物処理計画を策定したが、課内で目を通している職員は少ない。国策定の指針、災害廃棄物処理の手引き、事務処理マニュアル等についても同様。</p>	<p>令和元年東日本台風による水害に続き、令和3年及び令和4年福島県沖地震災害が発生し、災害廃棄物処理を間断なく実施した。本年度8月には災害廃棄物処理が終了し、遅れた事業や業務に取り組んでいるところ、振り返りや今後の体制整備への取組みはできていない状態。再度発災した場合、人員の異動は幾らかはあったが、ここ4年間の経験者も居り暫くは対処可能。</p>	<p>今後、本市に災害の発生がない状態が続いた場合、経験者も異動によりやがて皆無となり、災害業務に初めて対処する職員らが業務を進めることになる。スピードは落ちるであろうが、過去の実績記録や手引き・マニュアルに目を通し、また協議会等で主催する演習に参加するなど、平時において少しでも学習し意識しておくだけでも意味があると考えている。また、他地方の災害の支援に参加し、その実態を知ることが必要。</p>
	<p>人事異動の都度、災害廃棄物処理計画をはじめ、必要なマニュアル等の引継ぎを前任者と後任者との間で徹底している</p>	

テーマ6

大規模災害発災時には、産業資源循環協会・建設業協会・解体業協会など、協定を締結している団体等や、人材バンク、D.Waste-Net（持続コン・全国都市清掃会議）、東北ブロック協議会、ボランティア、自衛隊などの支援組織と連携して対応に当たる必要があります。その連携を円滑に活用するためには、どのようなことが課題になると思いますか。また、円滑に活用するために行っている現状の取組内容と、今後の取組予定又は取り組むことが望ましい内容

< テーマ6 - 1 : 支援組織との連携について >

課 題	現状の取組内容	今後の取組予定又は 取り組むことが望ましい内容
<ul style="list-style-type: none"> 各事業者団体の災害時の廃棄物処理への対応能力が把握できていない <u>・災害ボランティアをどのように動かすべきかわからない。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> 一般廃棄物処理業者、産業廃棄物処理業者及びし尿等の収集運搬業者の各団体と災害時の協定を締結している。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業者と災害対応における経費算出方法等について平時に協議しておくことが望ましい。 <u>・災害ボランティアの受入を所管する社会福祉協議会と連携し災害時の対応について協議しておきたい。</u>
<ul style="list-style-type: none"> 災害廃棄物処理計画には、各団体との災害協定を結んでいるが、まだ協定を活用したことがない団体もあり（し尿処理の組合、解体業協会）、各団体にどのように支援に入ってもらえるのかわからない。 協定を活用した団体（県産業資源循環協会）でも、令和4年度の災害時は、災害がお盆の時期に重なり、また建設業を兼ねている事業者が多いため、他の復旧工事に人員を取られ、スムーズに派遣が出来ない場面もあった。 	<ul style="list-style-type: none"> 年度当初に、県産業資源循環協会へ挨拶に伺い、情報交換を行っている。 災害廃棄物処理に係る研修に協定締結団体に参加を呼びかけている。 	<ul style="list-style-type: none"> <u>・平時から打合わせや合同研修等を通じ、事業者を含む関係機関と顔の見える関係を構築することが必要</u> 6年度に市町村、県産業資源循環協会などと連携し、初めて仮置場の設置訓練を実施する予定。このような場で災害廃棄物処理に係る課題を情報共有する。
<p>災害協定を締結しているが、活用したことがない</p>		<p>平時から研修等を通じて連携体制を確認したい</p>
<p><u>・連絡先の整理はしているが、日頃から交流がないこともあり、顔の見える関係構築には至っていない。</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> 県などの主催する研修会などがあれば参加しているが、交流を持つまでには至っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 前述の5と同様に、関係者と円滑に連絡が取れるよう、少なくとも年1回、連絡先の確認だけでも必要と感じる。
<p>支援を行う団体に経験がない場合、発災時の支援内容や支援規模の内部調整に時間を要すると思われる。</p>	<p>県が主催する仮置場設置訓練や環境省主催のセミナーに関する情報提供。</p>	<p>継続して繰り返し訓練に参加することで、技術・知識の習得を図りたい。</p>

< テーマ 6 - 1 : 支援組織との連携について >

課 題	現状の取組内容	今後の取組予定又は 取り組むことが望ましい内容
<p>災害廃棄物処理計画には、各団体との災害協定を結んでいるが、各団体にどのように支援に入ってもらえるのかがわからない(各団体のできることがわからない)</p>		<p>平時から打合わせや合同研修等を通じ、事業者を含む関係機関と顔の見える関係を構築することが必要(市町村、事業者双方の窓口は誰か等を確認しておくとともに、各団体等のできることとできないことを明確にしたい)</p>
<p>・災害協定を結んでいるが、どこまで支援をしてもらえるのか分からない。</p>	<p>・県の研修で県の協定内容について確認</p>	<p>・平時の研修等の際に具体的にどのようなことまでしてもらえるのか、災害時の窓口は誰になるのか確認しておく</p>
<p>災害協定を結んではいるが、活用したことがない</p>	<p>協定締結団体の連絡先の確認を行った</p>	<p>県等が実施する共同訓練への継続参加及び情報収集</p>

< テーマ 6 - 1 : 支援組織との連携について >

課 題	現状の取組内容	今後の取組予定又は 取り組むことが望ましい内容
<p>訓練をとおして、顔の見える関係構築に努めている。</p>	<p>プッシュ型支援を受け入れる受援体制の整備が町として必要になる。</p>	<p>市町村、事業者双方の窓口を把握しておくとともに、必要となる支援内容の確認をしておくべきと考える。</p>
<p>・現段階で想定できておりません。</p>	<p>・災害廃棄物の運搬については市の生活系ごみの収集運搬業者と協定を締結しており、日頃から関係を構築できています。</p>	<p>・災害廃棄物についても平時からすり合わせをしていきたい。</p>
<p>災害廃棄物処理計画には、各団体との災害協定を結んでいるが、各団体にどのように支援に入ってもらえるのかがわからない(各団体のできることがわからない)</p>		<p>平時から打合わせや合同研修等を通じ、事業者を含む関係機関と顔の見える関係を構築することが必要</p>
<p>協定を結んでいない。</p>	<p>災害廃棄物処理等の協力に関する協定を家庭ごみ収集業務委託業者と締結する準備を進めている。</p>	<p>協定締結後は平時から発災時の役割等について協議し備えておく必要がある。</p>

< テーマ6 - 2 : 計画・マニュアル策定について >

課 題	現状の取組内容	今後の取組予定又は 取り組むことが望ましい内容
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 災害廃棄物処理計画に支援・連携体制を記載している。(参考:本編P12) ・ 協定締結団体に毎年実施している市町村、協定締結団体向けの研修会に参加いただいている。 	
<p><u>災害廃棄物処理計画には、災害協定の記載がある。協力要請内容などを各団体に応じて詰める必要がある。</u></p>	<p><u>今回の水害を通して、お互いに顔の見える関係となった団体もあることから、今後もそうした関係を維持していきたい。</u></p>	<p><u>平時から、各団体と顔の見える関係を構築することが必要である。また今回の課題も共有し、より深い関係を構築できるようつとめたい。</u></p>
<p>災害廃棄物処理計画には、各団体との災害協定を結んでいる。</p>	<p>協定を締結している団体等の担当者の把握。</p>	<p>平時から打合わせや合同研修等を通じて窓口は誰か等を確認しておくとともに、各団体等のできることとできないことを明確にする。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 協定締結団体との災害発生時の支援内容や手順の具体化が必要 ・ 協定締結から時間が経過しているため、内容の見直しが必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 災害協定団体を一同に介した意見交換会や情報通信訓練(再掲) ・ 災害協定締結事業者の処理施設の視察と意見交換(再掲) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続的な意見交換会や情報伝達訓練の実施
<p>活用したことのない協定や支援体制については、支援要請に時間を要する。また、支援制度自体を把握していないケースも考えられる。</p>		<p>平時から関係機関と顔合わせを行うなどし、協定内容や支援体制をよく確認しておくことが望ましい。</p>

< テーマ6 - 2 : 計画・マニュアル策定について >

課 題	現状の取組内容	今後の取組予定又は 取り組むことが望ましい内容
<p>東日本大震災及びその後のいくつかの水害の経験から、東日本台風及び2度の福島県沖地震とも市内の協定締結団体（ごみ収集運搬及びし尿収集運搬事業者団体、建設・解体業事業者団体）、産資協（県の協定活用）とは特に大きい支障などなく連携できた。また、東日本台風ではごみ処理施設とし尿処理施設が被災し稼働停止に至ったが、ごみ処理及びし尿処理の支援に、国及び県が県内市町村への広域処理の振り分けを主導してくれたことにより解決できた。</p> <p>このことから、<u>被災レベルが大きい場合は、被災自治体のみで他機関と連携を図ろうとしてもかなり負担になるため、市町村においては、県が用意する協定（県内域をカバーする）の活用や県または県を通じ国（地方ブロック協議会）に支援要請を行うことのほうが市町村の負担は少なくなる。</u></p> <p><u>但し、今後、長く災害が発生しなければこれは幸いではあるが職員の意識は薄れるため、過去の実績、協定、指針・マニュアルの把握、講習等への参加により、発災時に少しでもより良く対応できる態勢にしておきたい。</u></p>	<p>災害廃棄物処理が終了したばかりで災害の余韻がまだ残っている現時点では、近いうちに次の発災があっても、同様の行動で対処と考えている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>協定締結相手と協定内容の確認を定期的に行うことや、災害業務上の問題点を把握し改善策を講じる。</u> ・ <u>策定指針、マニュアル等の改訂など常にチェック</u> ・ 国内で生じる災害とその廃棄物処理についての情報を常にチェックする（環境省サイト、ブロック協議会への出席）